

(様式1)

大教総第11250号-2

令和4年12月27日

文部科学大臣 殿

島根県大田市長 楫野弘和

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

大田市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

令和3年度（1年間）

（担当）

大田市教育委員会総務課

住所：島根県大田市大田町大田口1111

電話：0854-83-8119

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和4年10月20日 評価委員会開催
令和4年11月29日 評価結果を決定

(2) 評価の方法

令和4年10月20日に3名の外部有識者により事業内容等のヒアリングを実施。評価者からの意見書を基に市議会へ報告書を提出。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、おおむね達成できた。
市内5校の学校ネットワーク再構築(ローカルブレイクアウト)を実施することで通信環境の最適化を行い、快適で安全・安心な学習環境が整備できた。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

大田小、長久小、久手小、第一中、第二中においては、児童生徒一人1台のタブレット端末が完了後、児童生徒が一斉にネットワークを利用すると、接続の遅延や不能といった状況に陥り、学習活動に支障をきたしていた。インターネット接続の方式を学校毎にインターネットに接続する「ローカルブレイクアウト」方式に変更し、通信回線強化を行うことでICTを活用するための教育環境の整備ができた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
大田市立大田小学校	(4)	07	大規模改造(教育内容)	校	-	R3.10～R4.1	R4.2.21		
大田市立長久小学校	(4)	07	大規模改造(教育内容)	校	-	R3.10～R4.1	R4.2.21		
大田市立久手小学校	(4)	07	大規模改造(教育内容)	校	-	R3.10～R4.1	R4.2.21		
大田市立第一中学校	(4)	07	大規模改造(教育内容)	校	-	R3.10～R4.1	R4.2.21		
大田市立第二中学校	(4)	07	大規模改造(教育内容)	校	-	R3.10～R4.1	R4.2.21		